

永山小「確かな学力」育成プラン

令和8年2月～令和9年3月

旭川市立永山小学校

自ら学ぶ態度・学習習慣を身に付けさせるために

- ① 児童の思い・願いを取り入れる授業評価の工夫
- ② 家庭と学校が連携し、自ら進んで学習に取り組む環境づくり、学習習慣の定着
- ③ 「子ども育成プラン」に基づく家庭と学校との共同歩調
- ④ 図書資料の充実、情報・メディアを活用する学び方の実践
- ⑤ 体験的活動の充実(ボランティア)
- ⑥ チャレンジテストの活用

知識・技能の確実な定着のために

- ① 学力の基盤となる言語活動の充実、言語環境の整備
- ② 学習規律、話し方・聞き方などの学び方の定着
- ③ ICTを活用した個別最適な学習の充実
- ④ 複数の教員・講師による指導
- ⑤ 効果的な放課後学習の実施による、基礎的・基本的事項の定着

育てたい力

○ **学習意欲** 主体的に学習に取り組もうとする態度

○ **思考力・判断力** 学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、
・ **表現力** 分の考えを適切かつ豊かに表現する力

○ **知識・技能** 読み書きや四則計算などが確実にできる力

知識・技能を活用する力を育成するために

- ① 問題解決的な学習の重視
- ② 自分の思いや考えをもち、豊かに表現し、目的や意図に応じて筋道を立てて考える授業の推進
- ③ 身に付けた言語力を発揮する場面の設定
(聞く側を意識した発表の工夫の充実)
- ④ 地域の「人・もの・自然」と触れ合う体験的な学習の充実及び身に付けた知識・技能を活用する場の設定

指導力の向上を図る研修

- ① 思考力・判断力を高め、豊かに表現する力の醸成・育成
- ② 研究部及びブロックを中心とした校内研究会の実施
- ③ 研修の充実(学習指導要領による、主体的・対話的で深い学びの実践の蓄積と交流)

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果(6年)

本校児童の実態

令和7年度教研式学力調査の結果(5年)

国	「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」や「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる」において課題が見られた。	
算	「棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる」「異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる」において課題が見られた。	
質問紙	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学校に行くのは楽しいと思う。 (2) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を活用した学習した。 (3) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 (4) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。 	<ol style="list-style-type: none"> (1) 友達関係に満足している。 (2) 土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) (3) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることが出来ると思う。 (4) 算数の内容はよくわかる。

国語	<p>・「話すこと・聞くこと」の「聞き取り」の小問では、全国平均を上回る小問もいくつかあるが、い。</p> <p>・「書くこと」の領域において、全国平均を大きく下回り、苦手分野が顕著に現れている。</p>
算数	<p>・「数と計算」では、小3のひき算、かけ算、わり算の誤答率が20%～37%で、小4の計算問題はさらに誤答率が高く、全国平均を大きく下回っている。</p> <p>・「図形」、「数量関係(変化と関係)」の領域では、ほとんどの小問が全国より低い結果となっている。</p>